

「日本一の安心インフラやまぐち」プロジェクト

Point

- 老朽化が進み、維持管理・更新に係る経費の増大が見込まれるインフラ施設への対応として、長寿命化のための補修工事やデジタル技術を活用した維持管理の高度化・効率化に取り組んでいます。
- 海からの飛来塩分などを原因とした損傷・劣化により、沿岸部の離島架橋や港湾施設などのインフラ施設においては、補修費用が増加する傾向にあります。

主な 取組



大島大橋



塗装劣化・サビ



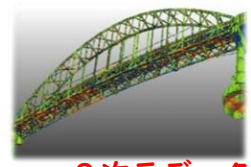
角島大橋



作業状況



笠戸大橋



3次元データ

◆インフラ施設の補修を一層推進することにより、安心・安全で円滑な人流・物流機能を確保し、産業・観光振興をサポートします！

- 大島大橋や角島大橋などの大規模補修を実施します
- 岸壁や泊地などの港湾施設の補修や機能回復を実施します



補修内容などを記載した「橋梁管理カルテ」がご覧になれます

◆デジタル技術を活用した維持管理の高度化・効率化により、安定した企業活動を長期間サポートします！

- 笠戸大橋などについて、ドローンなどを活用した点検を実施することにより、より詳細な橋の状態を把握し、効果的な補修につなげます
- トンネルなどの施設について、AIなどを活用した点検を実施することにより、交通規制の期間を短縮します